

◆ 今週のコメント

- ・ 細菌性赤痢(フレキシネル(B群))の報告が1例(男性, 5歳未満)あります。本年初めての報告です。症状は発熱・下痢・腹痛・意識障害です。推定感染地域は国内で, 推定感染経路は不明です。
- ・ デング熱(デング出血熱)の報告が1例(男性, 10歳未満)あります。本年初めての報告です。推定感染地域はタイ(プーケット)です。推定感染経路は蚊からの感染です。
- ・ インフルエンザの定点当たり報告数は10.10(677例)で, 第5週(2月11日～2月17日)をピークに5週連続減少しているものの, 依然として注意報レベルの「10」を上回っています。
- ・ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は1.80(74例)で, 過去5年平均値を上回っています。例年, 冬から夏前まで報告数が多い状態が続きますので, 今後の動向にご注意ください。

◆ 今週のトピックス:<風しん>

風しん(臨床診断例)の報告が1例(男性, 20歳代)あります。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 三類:細菌性赤痢(フレキシネル(B群)) 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- ・ 四類:デング熱(デング出血熱) 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- ・ 五類:風しん(臨床診断例) 1例【1月以降の累積報告数 4例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点67, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	10.10	677
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	7.10	291
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.80	74
	③ 水痘	1.10	45
	④ 突発性発しん	0.24	10
	⑤ 咽頭結膜熱	0.10	4
眼科	流行性角結膜炎	0.30	3

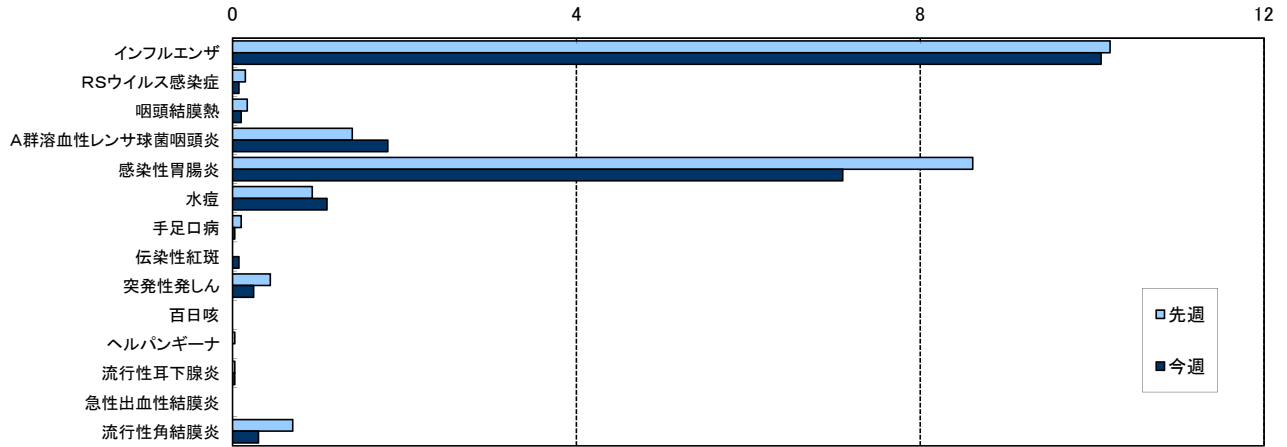
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:<風しん>

(注)京都市のデータは,平成25年3月14日現在の報告数で,全国の還元データと若干異なる場合があります。また,本情報での患者数は,届出医療機関所在地での集計で,患者の住所を示すものではありません。

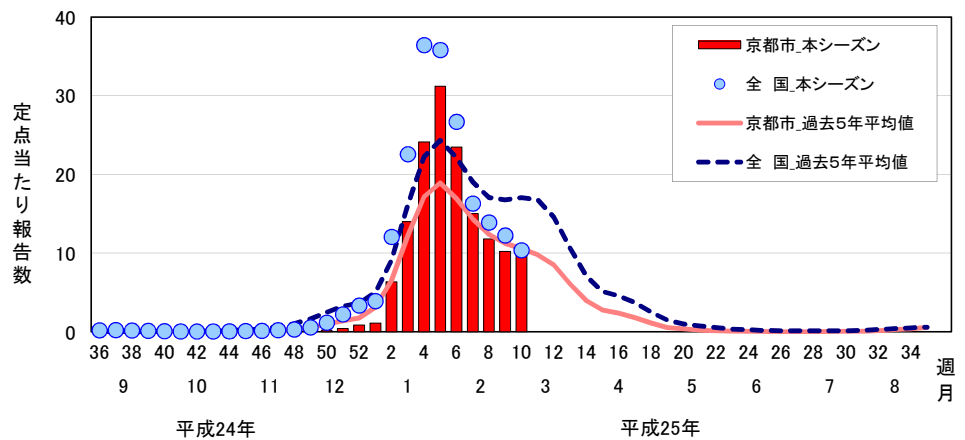
◆ 発生状況の概況グラフ

1 今週(第10週)と先週(第9週)の定点当たり報告数の比較



2 インフルエンザの推移

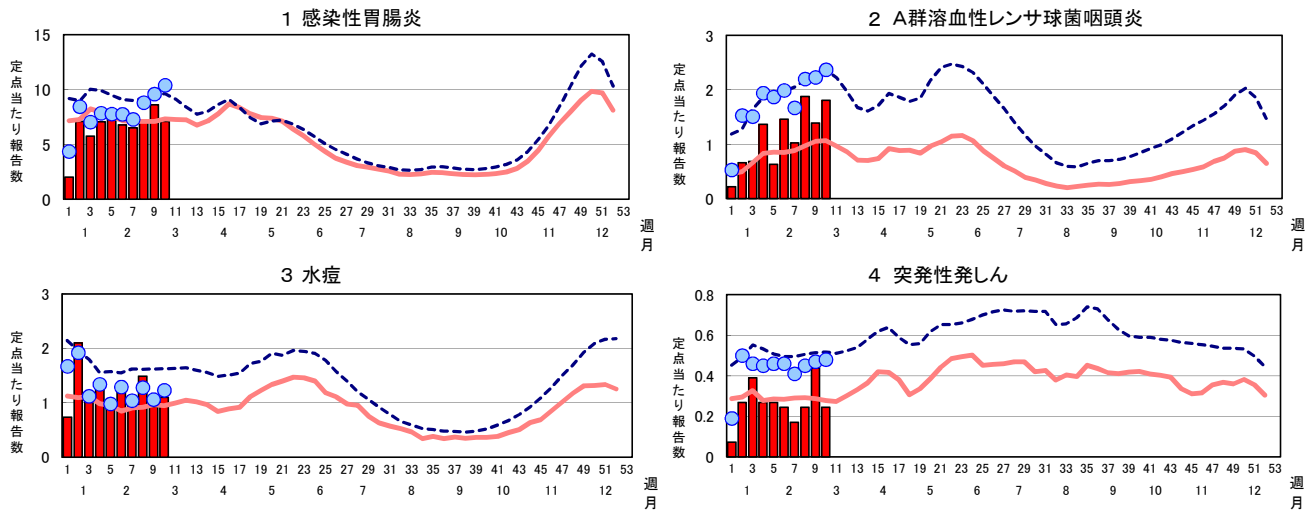
週	報告数(例)
第6週	1,572
第7週	1,007
第8週	791
第9週	684
第10週	677
累積報告数 (第36週以降)	9,990



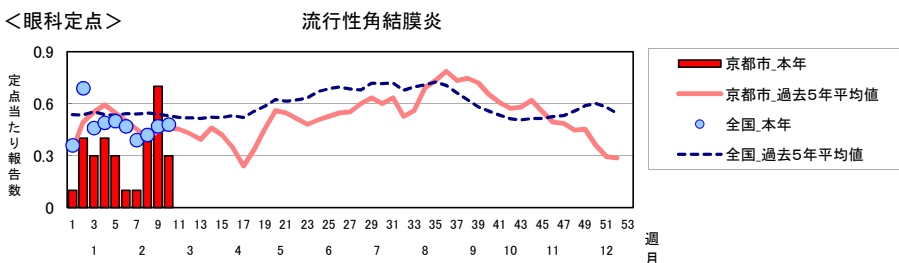
*平成21年/22年シーズンは、インフルエンザ(H1N1)2009の影響で、例年と流行傾向が大きく異なるため、過去5年平均値の算出には使用していません。

3 主な感染症の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



<眼科定点>



第10週(3月4日～3月10日)トピックス: <風しん>

風しん(臨床診断例)の報告が1例(男性, 20歳代)あります。第9週に引き続き, 2週連続の報告です。ワクチン接種歴は不明です。本年の累積報告数はすでに4例となっています。男性 3例(20歳代, 30歳代, 40歳代), 女性 1例(60歳代)で, ワクチン接種歴はなし 2例, 不明 2例です。

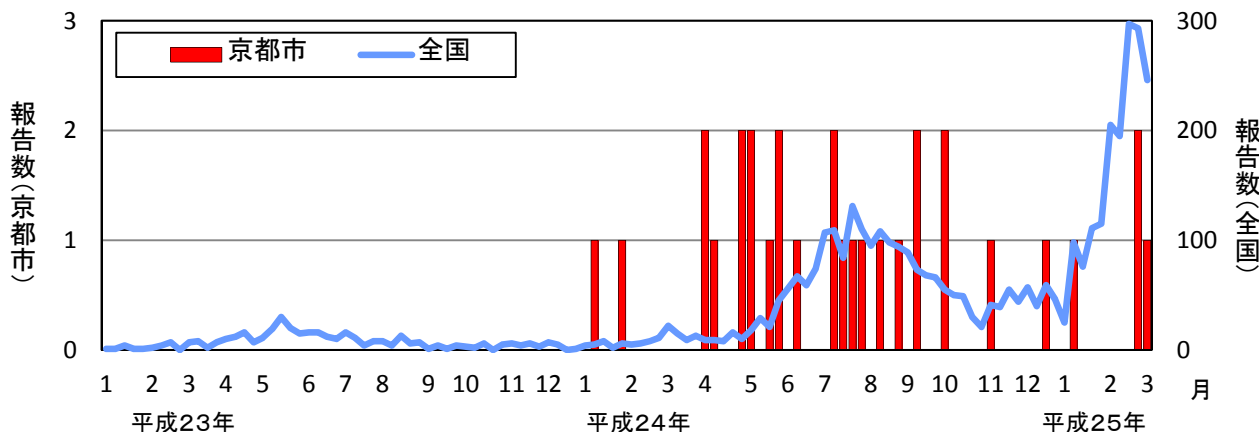
都道府県別報告数は, 本年は東京都, 神奈川県, 千葉県, 埼玉県の順に多くなっています。

全国の性別年齢群別累積報告数は, 20歳代～40歳代の男性の報告数が多くなっており, 女性では20歳代が多くなっています。

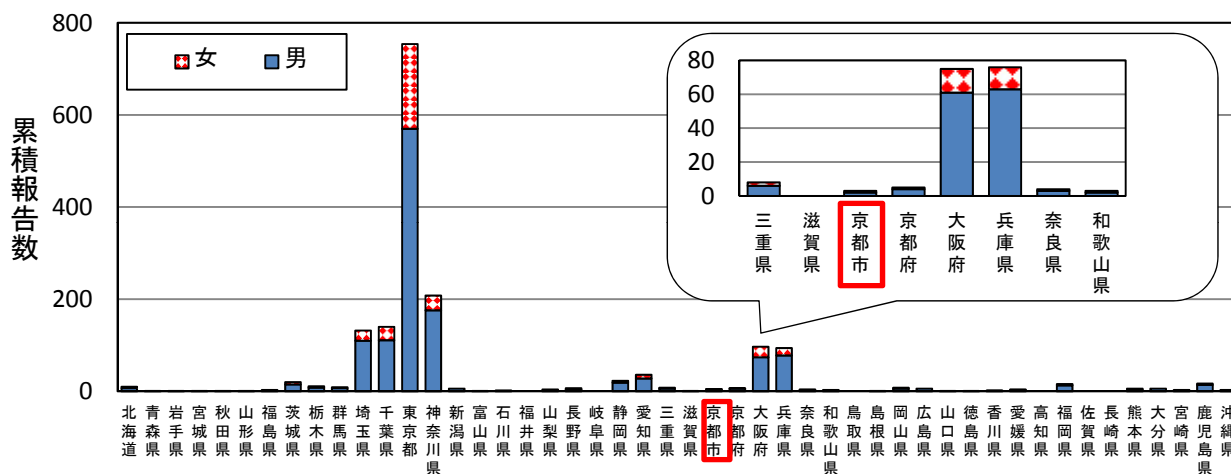
風しんの届出基準及び届出様式は, 下記を御覧ください。

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000043726.html>

京都市及び全国の報告数の推移(平成25年3月15日現在)



都道府県別累積報告数(平成25年3月15日現在)



全国の性別年齢群別累積報告数(平成25年3月15日現在)

